

## 令和6年度 学校評価 後期 主な項目の比較

		評価の観点	おおむねよい	あまりよくない
学校生活	児童	学校が楽しい。	90.6%	9.4%
	保護者	子供は、学校生活が楽しいと感じている。	95.6%	4.4%
	保護者	学校は、子供の活躍する場面がたくさんあり、教育内容が充実している。	100.0%	0.0%
	教職員	児童一人一人が活躍する場面を設けている。	100.0%	0.0%
		評価の観点	おおむねよい	あまりよくない
自ら学校を考える標準子	児童	学校のきまりや、やくそくを守っている。	97.9%	2.1%
	保護者	子供は、ルールを守り、適切に電子メディアを利用している。	84.4%	15.6%
	教職員	新一小よい子のやくそくに基づき、同一歩調で指導している。	100.0%	0.0%
	児童	学校で、学習したことがわかる。	96.9%	3.1%
	保護者	子供は、学習したことが身に付いている。	93.3%	6.7%
	教職員	児童は、学習内容が身に付いている。	100.0%	0.0%
	児童	進んで自主学習に取り組んでいる。	85.4%	14.6%
	保護者	子供は、進んで自主学習に取り組んでいる。	73.3%	26.7%
	教職員	自主学習等、学習が習慣化されている。	100.0%	0.0%
	教職員	児童が授業に主体的に取り組めるよう、指導方法を工夫している。	100.0%	0.0%
仲よし学ぐ校舎する目標子	児童	学校で火事や地しんがおきたとき、どうしたらよいか知っている。	96.9%	3.1%
	保護者	学校は、緊急時や問題発生時、適切に対応している。	100.0%	0.0%
	教職員	非常災害対策の計画が立てられ、分担は明確である。	100.0%	0.0%
		評価の観点	おおむねよい	あまりよくない
児童	仲の良い友だちがいる。	99.0%	1.0%	
児童	友だちと話をしたり、遊んだりするのが楽しい。	99.0%	1.0%	
保護者	子供は、仲のよい友だちがいる。	97.8%	2.2%	
保護者	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	95.6%	4.4%	
教職員	児童一人一人をよく理解し、指導している。	100.0%	0.0%	
児童	友だちに、やさしくしている。	97.9%	2.1%	
保護者	子供は、友だちに優しく接している。	97.8%	2.2%	
教職員	人権教育の視点(外国人、障害者、LGBTQ、いじめ等)を意識して教育活動を行っている。	100.0%	0.0%	
		評価の観点	おおむねよい	あまりよくない
健康で学が校ん目ば標準子	児童	進んで外で遊んだり、運動したりしている。	85.4%	14.6%
	保護者	子供は、帰宅後や週末に外で遊んだり運動したりしている。	75.6%	24.4%
	教職員	体育や休み時間を通して、児童は主体的に運動に親しんでいる。	100.0%	0.0%
	児童	給食をバランスを考えて食べている。	94.8%	5.2%
	保護者	子供は、朝食や夕食をしっかりと食べている。	97.8%	2.2%
	教職員	児童の健康の保持増進のため、健康教育を実践している。	100.0%	0.0%
	児童	自分の歯にあつた歯みがきをしている。	91.7%	8.3%
	保護者	子供は、歯・口の健康を意識して、朝夕歯みがきをしている。	95.6%	4.4%
	教職員	歯と口の健康維持のため、日々の指導を適切に行っている。	100.0%	0.0%